



第3回関東セラピスト集合会（2023年11月17日） 報告書

「地域」での医療・介護・福祉への焦点が謳われる今日、当グループにおいても、各地域で実践をさせて頂くセラピスト間での情報共有を図る事で、質の担保、安全なサービスの提供に繋がるよう知識・技術の研鑽が必要であるものと捉えています。この集合会を通じて、それらの補填を行ない、継続した情報交換によって、少しでも、地域の皆様方へ還元すべく、努力して参りたいと考えます。尚、研修会は、情勢を鑑みつつ、WEB参加可能なハイブリット開催を行ないました。

「介護予防の推進に資する 専門職研修②」

講師：三好主晃



1. 専門性
2. 地域
3. 経験
4. 人間力

定期的な開催を行なうことで連携強化のみではなく、セラピストの価値を上げ、サービスの質向上が、地域貢献や医療・介護・福祉貢献に繋がることが期待されます。

教育・情報共有 地域貢献・地域づくり

前回に引き続き、左脳の論理的思考（ロジカルシンキング）、右脳の創造的思考（クリエイティブシンキング）、経験と知識から得られる（システムシンキング）アントレプレナー精神など、様々な視点から、改善できる可能性を模索し、現状・状況を構造的に捉え、立場を変えて考えることができる専門職育成の重要性の継続した研修会とさせて頂きました。

また、今回の第3回研修会では「介護予防はまちづくり」「ごちゃまぜ」なども内容に加えた内容となりました。

これらの研修や実践と共に、地域ケア会議や地域の活動協力者等に選定される、若しくは遂行できような人材育成を、当グループは行なって参ります。

「リハビリ養成校での学び」「通所型サービスC事業」「家族介護教室」「高齢者学級」等を通じて

施設内での実践のみならず、市政や公民館を含む各種活動に赴いたことを、地域の皆様方と共有することにより、「地域」の学びと「臨床」の学びを融合させ、介護保険領域の特性を活かすべく、当方の活動を展開しています。

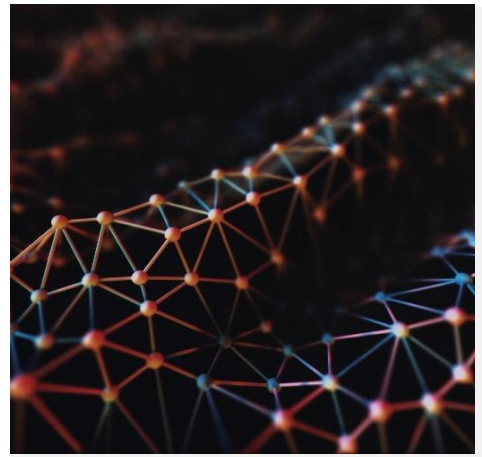
また、このことを、グループ内で共有する事により、知識を構築し、実践に繋げ、利用者様の人生に少しでも寄り添わせて頂ければと考えます。

情報共有手段の検討

入居者様へのリハの目標設定について

デイケアセンターとまと

1. 利用者様についての情報共有
2. 入居者様への目標設定と協力体制の確立



上記課題に対する他施設様からの意見

◇生楽館の介護長やスタッフとのコミュニケーションを強化します。

◇職員が付き添って歩く時間を朝・昼・夕ではなくお昼だけ入居者様と食堂に行けたら職員の業務量負担が軽減すると思います。

◇他施設でも悩んでいる事で今後も良い解決策があれば情報共有していきましょう。



今回参加者

- ◇デイケアセンターまごころ（千葉県木更津市）
- ◇デイケアセンターとまと（神奈川県藤沢市）
- ◇デイケアセンターひまわり（千葉県柏市）
- ◇木更津真心生楽館（千葉県木更津市）

次回

- ◇デイケアセンターまごころ主幹開催
- ◇2024年3月開催予定
- ◇開催方式：ハイブリット開催（ZOOM参加・対面参加同時開催）

報告

2023年11月17日

報告者

川崎智弘・三好主晃

総評

◇仕事に対する考え方や質を向上する目的として

今日、この時間までに良かったことを一つ挙げ、利用者様に対してもお聞きます。利用者様に対して無関心過ぎても近づきすぎてもいい関係性は築けません。

◇ユニバーサルマナー

高齢者や障害者など、「自分とは違う誰かの視点に立ち行動すること」は、特別な知識ではなく、「こころづかい」の一つです。相手の立場に立って接し方や話し方を検討します。

◇勉強会を通して、最新の知見を知ることができ、とても有意義な時間となりました。統括次長の言われた様に、仕事の時間以外にも自己研鑽する時間を作る必要性を強く感じる事ができました。